



山武 燦々



さん む さん さん



山武市勢要覧 2008
Sammu City



目次

市長あいさつ……④

特集◎太陽と太平洋の体験隊

体験「山武流」

光と風のふるさと……⑤

色づく街を花から花へ……⑥

波と雲の彼方から……⑦

先人たちの足跡を訪ねて……⑩

Sun Sun Map

太陽と太平洋の山武散策……⑫

ともて手を携えて誇りを持てる

まちはぐわ

「まちはぐわ」を推進できるのは独立自治体さんむー

暮らしを支える快適なまちづくり……⑬

住みやすい環境と安全なまちづくり……⑭

にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり……⑮

◎産々山武 あじわいのまち山武……⑯

◎讀々山武 ふれあいのまち山武……⑳

生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえる

まちづくり……㉑

◎産々山武 創造のまち山武……㉒

市民と行政が協働してつくるまちづくり……㉓

行財政・市議会……㉔

文化の社、健康の園……㉕

さんぶの森公園／松尾図書館

蓮花海浜公園／成東文化会館のまぐわ

神々の里 山武の歴史と風土

大地の記憶……㉖ 祈りと感謝のまぐわ……㉗

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

太陽E6365W……㉘

The sun shines on the sparkling sea and fertile land. Bathing in the pleasant breeze and superb sunshine, flowers blossom colorfully and people smile refreshingly. Reborn in March 2006, our hometown is now brimming with cheerful and lively energy. Let us take a look at some of the wonderful scenes in Sammu, a community of thrilling new encounters.



山武燦々

さん

む

さん

さん



きらめく海原と肥沃な大地に燦々と降り注ぐ太陽。
心地よい風と、とびっきりの陽射しを浴びて、
鮮やかに咲き誇る花々と人々のさわやかな笑顔。
平成18年3月、新しく生まれ変わった私たちの故郷は、
いま、明るく伸びやかなエネルギーに満ちています。
心ときめく新たな出逢いが待つ、わがまち山武の
素敵なシーンを訪ねてみましょう。





山武市は、千葉県の東部に位置し、千葉市や成田国際空港まで約18km、東京都心から約60km圏内に位置しています。九十九里浜のほぼ中央で約8kmにわたって太平洋に面し、総面積は146.38km²。平成18年3月27日、成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の山武郡内4町村の合併により、山武市が誕生しました。

郷土燦々

広い砂浜には、波から産まれた「海の子」が遊んでいた。丘には、樹から生まれた「山の子」が駆け回っていた。黄金色に染まった稲穂の間を、土から生まれた「田んぼの子」が跳ねていた。

見上げる空に成田空港と世界を結ぶ飛行機が行き交う。

東京から電車で一時間、日本の都にこんなに近い、世界の都とこんなに身近な。

海があつて、おいしいお米や野菜がふんだんに採れる、

温暖な気候に恵まれた私たちの郷土。

当然のことの様に、そんな宝物を当たり前前に感じて生きてきた。

私たちは今、この郷土と新しい関係を結ぼうとしている。

互いに相手の善意や美点を理解し、尊重しあい、認め合

い、私たちの心を受け継ぐ未来の子どもたちを慈しみ、永遠に続くふるさとを愛し続けたい。

あなたのふるさとを。

平成二十年三月

山武市長 椎名千収





Sammu City is situated in the eastern part of Chiba Prefecture, about 18 km from Chiba City and New Tokyo International Airport at Narita and within the range of about 60 km from central Tokyo. Located almost in the middle of the Kujukurihama coastal area, the city faces the Pacific Ocean for a distance of about 8 km and has a total area of 146.38 sq. km. Sammu City was established on March 27, 2006, through the merger of four municipalities in Sanbu-gun county: Naruto-machi, Sanbu-machi, Hasunuma-mura, and Matsuo-machi.

Sammu City —Our Brilliant Community

“Children of the ocean,” born from the waves, are playing on the wide beach. “Children of the mountains,” born from the trees, are running about in the hills. “Children of the paddies,” born from the earth, are jumping between the golden heads of rice.

Overhead, airplanes connect Narita Airport with the rest of the world. Just one hour’s train ride from Tokyo, Sammu is close to the capital of Japan and close to the capitals of the world.

Our brilliant community is blessed with the ocean, lots of delicious rice and vegetables, and a warm climate. Naturally, we have come to take these treasures for granted.

Now we are endeavoring to build a new relationship with our hometown. We want to continue to mutually understand, respect, and recognize one another’s good intentions and merits, to cherish our children, who will carry our feelings into the future, and to love our eternal hometown.

This is your hometown.

March 2008

Mayor **Shiina Senshu**



太陽と太平洋 の体験隊



海浜の森遊歩道の松林

どこまでも続く九十九里浜、季節ごとに鮮やかに装いをあらためる田園風景、そして豊かな緑に覆われた丘陵地帯。素朴でありながら、変化のある風光明媚な景色が悠々と広がっています。

山武のシンボルでもある山武杉の木立ちを渡る風は穏やか。さんぶの森公園に遊べば、自然のぬくもりを身体の芯から感じることができるでしょう。市内を縦走する「関東ふれあいの道」は、散策にはもってこいのコースです。そして、限りなく水平線が続く九十九里浜の光景。この地に暮らす喜びは、何気ない風景の中に見つけることができます。



さんぶの森公園

さんぶの森
杉風と陽光を

光と風のふるさと



さわやかな風をはらんで



太陽の恵みをいっぱいを受けて実る果実

グリーンタワーから望む山武の豊かな大地



木戸川の河口近く

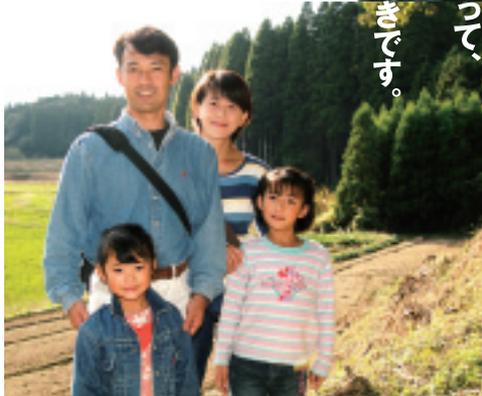


体験「山武流」①

いっぱいには浴びて

木漏れ日の杉並木を歩く、秋風が気持ちいい一日……
 初めて見上げる大きな大きな杉の木たちは、
 おいしいちゃん、おばあちゃんよりもずっと昔から生きてきたこと、
 野道で見つけた野菊の花は、新しい山武市の花に選ばれたこと、
 お父さんとお母さんにたくさん教えてもらって、
 楽しみながら勉強することができました。
 山もあるし海もある、だからこの街が大好きです。

豊かな風土の体験隊●上横地
 亀井龍男さんご一家



山武杉の木立を往く関東ふれあいの道

Sammu, a City of Light and Breeze

The breeze passing through the clusters of Sanbu cedar trees, the symbol of the city, is forever gentle. If you play in Sanbu no Mori Park, you will feel the warmth of nature with your whole body. The Kanto Fureai no Michi, which crosses through the city, is ideal for a stroll. And then there is the Kujukurihama coastal area, where the horizon continues forever, and the rural landscape that changes its appearance with the seasons. You can find the joys of living in this district in every casual scene.



長光寺のしだれ桜

ハマヒルガオ群生地



太陽と太平洋 の体験隊



浪切不動院

豊かな自然が息づく山武の風土を代表するのが成東・東金食虫植物群落。約300種類の植物群の中には、ミミカキグサやイシモチソウなど稀少な食虫植物が生息しています。

淡紅色の可憐な花を咲かせるのが、海岸砂丘に群生するハマヒルガオ。街なかでは早春の菜の花にはじまり、桜、ひまわり、コスモスなど…。四季折々に花々の彩りが楽しめます。

かつて伊藤左千夫に「石塚の岩辺の桜ひた枝に、苔むすなべに振りさびにけり」と詠まれた浪切不動院の桜や、長光寺、妙宣寺のしだれ桜は、素晴らしき風情を醸し出しています。

色づく

街を花から

花へ



成東・東金食虫植物群落

花と緑の 散歩道

体験「山武流」②

食虫植物の不思議な生態に興味しんしん……
初めて訪れた食虫植物群落では、手つかずの自然を守る、
地域やボランティアの方たちの姿が心に残りました。
今年の夏はヒマワリが元気だね。秋桜アキオがもう咲いてるよ。
3人は、やさしい色と香りに誘われて花から花へ、
私たち、ちようちよみたいね！ ミツバチかもよ？
来年の春が待ち遠しいね。名物の桜があるんだって。

花と緑の体験隊◎大平小学校6年生

右から

越川 茉美さん
高知尾 真帆さん
大木 望里さん



Sammu, a Colorful City of Flowers

Rare insectivorous plants grow at the Naruto Togane Insectivorous Plant Colony, a natural monument that is representative of Sammu's nature. The sea bindweed, which blossoms into a pretty pink flower, announces the arrival of summer at Kujukurihama. The cherry blossom trees of Namikiri Fudoin temple are famous for having been greatly admired by the well-known local novelist Sachio Ito.

われらは海の子 さんむ 山武の子

夏の訪れがひたすら待ち遠しい。山武に暮らす人たちの自慢は、どこまでも続く白砂青松の海岸と青い海。海水浴や貝拾いに夢中になった夏休み―水平線の彼方に昇る太陽を待ちきれなかった子ども頃の思い出は、潮の香りと波のざわめきとともによみがえります。

6つの海水浴場はもちろん、九十九里浜はサーフィンやボディボードなどマリンスポーツにとっても人気のエリア。県内外や東京からも大勢の観光客が訪れます。

九十九里ではかつて、地引き網の漁法が盛んに行われていました。夏の間は観光地引き網として体験することができます。



太陽と太平洋 の体験隊

海辺の体験隊●戸田
安田勝宏さんご一家





観光地引き綱



本須賀八坂神社夏祭りの浜下り



波打ち際までまっ先に走っていったのは、
このごろ少し夏バテぎみのお父さんでした。
いつの間にか、家族みんなで波と追いかけています。
ちよつと海でも見てこようかなんて、めずらしいと思ったら、
そのまま日が暮れるまで潮風と戯れてしまいました。
シーズンが過ぎた静かな浜辺も気持ちがいいな……
海の季節がちよつぱり名残おしく感じた一日でした。

体験「山武流」③

波と雲 の 彼方から

あなた



From Behind Waves and Clouds

The coast at Sammu City is a sandy beach that is ideal for sea bathing. Every summer people flock here not only from the local area but also from outside of the prefecture and from Tokyo. Kujukurihama is also an excellent spot for marine sports, such as surfing and bodyboard riding. In addition, in the summer it is possible to experience seine fishing, a method of fishing that flourished in this district in the past.



政夫と民子像 (伊藤左千夫記念公園)

先人たちの

足跡を

訪ねて

太陽と太平洋 の体験隊

1908年の創刊から長きにわたり日本の短歌会をリードした「アララギ(当初、阿羅々木)」。創刊時の主要メンバーは、山武に生まれ育った伊藤左千夫と蕨真でした。優れた歌人だった左千夫は、牧歌的な純愛小説『野菊の墓』を発表。その歌や小説からは、故郷の豊かな自然の匂いが香り立ってくるようです。

他にも童謡「里の秋」などの作詞で知られる斎藤信夫、成田山の発展に尽くした荒木照定、日本農業の発展に尽力した牧野萬右衛門、総武線の開通に全精力を傾けた安井理民ら、ふるさと山武を愛し、力を尽くした偉人を数多く生んでいます。



蕨真(本名:真一郎)



斎藤信夫歌碑(成東城跡公園)



伊藤左千夫生家にて



蕨真が座興に歌を書き付けた扇子

蕨真の歌集「林間集」

根岸短歌会の同人誌「馬酔木」は、伊藤左千夫を中心として明治36年に創刊、5年後には「アカネ」と名を変えた。「阿羅々木」は同年(明治41年)に創刊され、山武の地で第3号までが発行された



Sammu, a City of Great People

Sammu has produced many great people who loved their hometown, including Sachio Ito and Shin Warabi, the principal founding members of the magazine *Araragi*, which was a leading voice in Japanese *Tanka* circles; Ito's novel of pure love *Nogiku no haka* (Grave amid Asters) is one of the classics of modern Japanese literature. Others includes the children's song poet Nobuo Saito; Shoji Araki, the chief priest of Naritasan Shinshoji temple; Manemon Makino, who made great efforts toward the development of Japanese agriculture; and Harutami Yasui, who played a leading role in the opening of the Sobu Line.

詩情の 原風景を想う

体験「山武流」④

いろりや土間、かや葺き屋根を目にして思い起こす時代。自然に近い暮らしから生まれる素朴な風土と風情……とときどき顧みては、創作のヒントをくれる故郷の文化です。『野菊の墓』といえば、映画館の迎えのバスに乗って、となりの街まで観にいったわね。民子役は誰が演じていたかな。文学少女だったあのころに、ふっと立ち返る瞬間です。また、久しぶりに読み返してみましようか。

文化の香り体験隊●
右から

古川光さん(蓮沼口)
橋本京子さん(蓮沼二)



正岡子規の七周忌歌会に参集したアララギの歌人たち(明治41年根岸の子規旧居)



伊藤左千夫から藤真へあてたはがき

施設・史跡

- ① 浪切不動院
- ② 成東城跡公園
- ③ 山武市歴史民俗資料館
- ④ 安井理民出生地
- ⑤ 大高善兵衛の墓
- ⑥ 元禄大津波の供養塚
- ⑦ 六所神社本殿
- ⑧ さんぶの森公園
- ⑨ 松尾城跡
- ⑩ 旧松尾藩主居室の長屋門
- ⑪ 関東ふれあいの道
- ⑫ 蓮沼海浜公園
- ⑬ 道の駅 オライはすめま

花の名所等

- ⑭ 長光寺・妙宣寺のしだれ桜
- ⑮ 木戸川の桜並木
- ⑯ 賀茂神社の大杉
- ⑰ 駒形神社の椎の木

特産

地酒(⑱梅一輪酒造 ⑲花の友 ⑳寒菊銘醸 ㉑守屋酒造)
いちご・すいか・とうもろこし・にんじん・ねぎ
梨・ぶどう・柿など

伝統工芸

上総獅子頭
山武の建具



Sun Sun Map

太陽といっしょに
さんむさんさく
山武散策

太平洋

文化財

- | | |
|-----|---------------------------|
| 国指定 | ② 成東・東金食虫植物群落 |
| // | ③ 九十九里教会 |
| 県指定 | ④ 木造四天王立像、木造阿難・迦葉立像(勝覚寺) |
| // | ⑤ 銅像阿弥陀如来及び両脇侍立像(歴史民俗資料館) |
| // | ⑥ 木造釈迦如来座像(宝聚寺) |
| // | ⑦ 八幡神社のいざりばた(白幡八幡神社) |
| // | ⑧ 伊藤左千夫生家 |
| // | ⑨ 稲葉黙齋の墓 |
| // | ⑩ 石塚の森(浪切不動院・八幡神社) |
| // | ⑪ 島戸境1号墳 |
| // | ⑫ 大堤権現塚古墳 |
| // | ⑬ 山室姫塚古墳 |
| // | ⑭ 五所神社本殿 |



春夏秋冬
ふるさとのまつり

- 1月10日 ● 八田・金刀比羅神社の例大祭
- 2月3日 ● 節分会 (豆まき: 浪切不動院・勝覚寺・光明寺・海蔵寺・金刀比羅神社・大宮神社・妙隆寺・長徳寺・五所神社など)
- 2月第3日曜日 ● 蓮沼・五所神社の例祭 (神楽)
- 3月第2土曜日 ● 本柏・稲荷神社初午祭 (神楽)
- 3月中旬 ● なのはなまつり
- 旧暦2月15日 ● 松ヶ谷・勝覚寺の縁日
- 4月第1日曜日 ● 折戸・大宮神社の春季祭 (神楽)
- 旧暦6月13日 ● 田越・浅間神社の例祭
- 7月上旬 ● すいか祭り
- 7月25・26日 ● 松尾・末廣神社例祭 (神楽)
- 7月下旬 ● 蓮沼サマーカーニバル (蓮沼海浜公園)
- 7月下旬 ● 本須賀・八坂神社の例祭 (神輿・獅子舞)
- 8月第1土曜日 ● 小柳の天王様 (山車・神輿・獅子舞)

- 8月第1日曜日 ● 蓮沼・五所神社の夏祭り (神輿)
- 8月第1日曜日 ● 八田・金刀比羅神社鎮風祭 (神楽)
- 旧暦8月2日 ● 松ヶ谷・勝覚寺の縁日
- 10月10日 ● 八田・金刀比羅神社の例大祭
- 10月14日 ● 森・賀茂神社の例祭 (獅子舞)
- 10月17日 ● 折戸・大宮神社の秋季祭 (神輿)
- 10月中旬 ● 富田・駒形神社の例祭 (山車)
- 10月中旬 ● 根蔵・八幡神社秋祭り (山車・神輿)
- 10月中旬 ● 椎崎・八幡神社の例祭 (三匹獅子舞)
- 11月上旬 ● 白幡・八幡神社の例祭 (お籠頭の舞)
- 11月上旬 ● 産業まつり
- 12月上旬 ● ライトフェスタ in さんぶの森 (さんぶの森公園)



現状と課題

暮らしを支える快適なまちづくりには、地域の持つ特性や周辺環境を生かした都市基盤の整備が必要です。

しかしながら、急激な高齢化、市民ニーズの多様化、そして、特に財政状況の悪化により社会資本の整備が遅れ、市民の暮らしに影響が出ています。

限られた財源の中で、市民が快適に暮らせるように道路網や交通手段の確保を含めた交通網の整備充実を図らなければなりません。

また、安心・安全に暮らしていくには、防災・消防対策の充実も必要です。

そのためには、消防署との連携を更に強化し、防災体制を整備することや地域防災計画の周知徹底を図らなければなりません。

市民が、安心して安全に暮らせ、そして手軽に買物などができる利便性を確保し、『住んで良かった』と言われる環境を整えることが行政の役割です。

山武市の取り組み

人々が安心、安全、そして利便性を



千葉東金有料道路



山武地区を運行する巡回バス



整備された市道

Construction of Urban Infrastructure

While giving full consideration to local characteristics and the surrounding environment, we will promote the construction of such urban infrastructure as the road network, including the ensuring of means of transportation, and urban areas so that all citizens can genuinely feel comfort and convenience in their lives. In addition, in order to build an environment that makes people say they are “happy to live here,” we will make efforts to improve the city’s disaster-prevention setup by strengthening coordination with the fire department and spread awareness of the local disaster-prevention plan.



成田空港シャトルバス



農業集落排水工事

確保して暮らしていける都市基盤を整えることは、まちづくりの大きな要素です。誰もが気軽に移動できるよう道路網の整備や公共交通を確保することにより、地域間交流が活発化され活気のあるまちになります。

本市の顔とも言える駅周辺の利便性を向上させるための整備や潤いのある市街地整備を進め、生活重視のまちづくりに取り組みます。そのための整備方針を定め、計画的に進めます。

防災・消防対策では、防災体制の整備を図り、地域防災能力を強化・向上させます。

また、災害に対しては迅速かつ的確な初動体制が重要であることから、地域防災計画を有効に機能させ、被害を最小限に抑えます。

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



【都市基盤の整備】

暮らしを支える快適なまちづくり

すべての市民が暮らしの快適さ、利便性を実感できるよう、地域の特性や周辺環境を考慮して交通手段の確保を含めた道路網の整備や市街地整備等の都市基盤整備を推進していきます。また、「住んで良かった」と言われる環境を整えるために、消防署との連携を強化して防災体制を整備するとともに、地域防災計画の周知徹底に努めていきます。



現状と課題

本市には、恵まれた自然環境が残っています。豊かに残った自然は保全し、壊れてしまった自然は取り戻し、より暮らしやすい生活環境をつくらなければなりません。

温暖化などの地球規模で深刻化する環境問題に対しては、市民、行政、事業所が一体となって取り組む必要があります。ごみの減量化・資源化・リサイクルの推進など、環境に対する重要性を一人ひとりが意識して取り組みを実践することが重要です。

また、航空機騒音直下の地域については、発着便の増加に伴い、騒音対策の更なる充実が必要になります。

一方、近年は国際化の進展や地域社会における連帯意識の希薄化など様々な社会情勢の変化を背景に刑法犯罪件数が増加しており、高齢者・幼児などの交通事故も増加傾向にあります。

このような状況のもとで、犯罪や交通事故を防止するためには、警察による取締りに加え、常に市民一人ひとりが防犯や交通安全に対する規範を意識し、地域ぐるみで取り組む必要があります。

山武市の取り組み

恵まれた自然環境と地下水を保全するため不法投棄の防止などに努め、すべての市民が快適で衛生的な生活



資源分別収集



市営住宅



バイオマス環境学習発表会

Building a Resident-Friendly Environment

The common wish of all citizens is to live in a resident-friendly environment while coexisting with the abundant nature around us. Our aim is to preserve Sammu's affluent natural environment and to implement city building that does not place an excessive burden on the natural environment by promoting the reduction, reuse, and recycling of garbage and so on. We will also endeavor to adopt airport noise countermeasures.



を営むことができ
るよう、生活衛生
環境を充実させま
す。

さらに、市民、行政、事業所が一体
となり、ごみの減量や排出抑制に取り
組むことにより、自然環境への負荷が
少ないまちにします。

成田国際空港と周辺地域の更なる発
展を期するため、空港との新たな共
生・共栄の実現を目指します。

また、防犯対策につ
いては、「山武市安全で
安心なまちづくり推進
条例」に基づき、住民、
自治会等、事業者の防
犯意識を高め、自主的
な防犯活動を推進し、
安心して暮らすことが
できるまちづくりを進
めます。

交通安全対策につ
いては、「山武市交
通安全条例」に基
づき、市民、警察
及び交通安全協会
などの連携を図
り、飲酒運転の撲
滅や交通弱者（高
齢者や子ども）が
交通事故に遭わな
い環境整備に努
め、安全で快適な
生活空間づくりを
進めます。

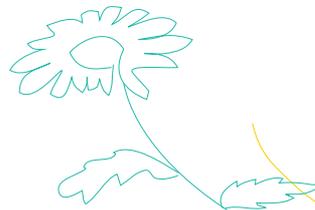


ボランティアによる学童の見守り活動

交通安全教室

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



【暮らしやすい環境の整備】

住みやすい環境と安全なまちづくり

豊かな自然と共生しながら、暮らしやすい環境のなかで生活していくことは、すべての市民の共通した願いです。山武市の恵まれた自然環境を保全するとともに、ごみの減量化・資源化・リサイクルの推進などに取り組み、自然環境への負荷が少ないまちづくりを目指します。また、航空騒音対策にも努めていきます。



現状と課題

農業で生計を立てるのが難しい、または先行きが不透明であるということ、を主な原因として、本市の農業人口は減少しています。農業は、本市の基幹産業であることから、担い手の育成を含め、安心して農業を続けることができる環境づくりが必要です。

商業においては、市民が市内で買物せず市外で買物することなどにより購買力が流出し、商店の閉鎖が相次いでいます。

工業においては、有力企業が合理化のために工業団地からの撤退も見られます。



稲刈り風景

また、雇用の問題として、市内に働く場所が少ないことがあげられます。観光業では、季節的な賑わいとどまっているため、通年型観光への移行



山武杉の木工品加工



成東朝市

Industrial Development

Industrial development is essential in order to galvanize and bring prosperity to the city. Considering the characteristics and environment of Sammu to be the assets of the locality, we will enliven production and exchange and promote city building that vitalizes the local economy. Specifically, among other things, we will strive to construct the infrastructure for agricultural production, build a year-round tourist resort, create attractive shopping districts, and promote new company location.



を進めなければなりません。

このような状況下においては、農林水産業、商工業、観光業がそれぞれの分野だけで、独自に現状を改善することは非常に困難です。

本市の産業を活性化させるためには、古くから伝承される文化や資源などを活かし、市民の一体感の醸成を図ることが重要であり、産業分野を越えた横断的な取組みや異業種との円滑な連携が必要です。

山武市の取り組み

農林水産業は、食料生産だけでなくとどまらず、環境・景観の保全や防災、地域振興、教育など多面的な機能を有しているため、意欲ある担い手の育成や生産基盤の強化、森林整備等、自然環境との共生を図った事業を展開します。

商業は、競争力ある質の高い商業・サービス業店舗の立地を推進し、地域住民が利用しやすく、若者にも魅力ある商店街づくりを支援します。

工業では、新企業の立地促進を図り、新たな雇用を創出します。

観光業においては、夏期中心の観光から、通年型の観光地づくりを目指します。特に観光業は農林水産業、商工業への相互乗り入れが多分に期待できる分野であることから、観光客誘致による農林水産業及び商工業との相乗効果を生み出します。



道の駅「オライはすぬま」



はすぬま味工房

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ

【産業経済の振興】

にぎわい豊かな 暮らしを創出するまちづくり

まちに賑わいや活性化をもたらすには、産業の振興が欠かせません。山武の風土や環境を地域の財産としてとらえ、生産や交流を活発にし、地域経済を活性化させるまちづくりを推進していきます。具体的には、農業生産基盤の整備、通年型の観光地づくり、魅力ある商店街づくり、新企業の立地促進などを図っていきます。





ブドウ

秋の味覚の王様といえば、ブドウ。各地へ出荷されるほか、観光農園でのブドウ狩りも楽しめます。



山産 武々

さんさんさんむ



ニンジン

甘味たっぷり、カロチンたっぷりのニンジンには、健康にいい緑黄色野菜の代表選手。減農薬で安全な山武のニンジンは、市場でも人気です。



栽培されている「山武ネギ」は、甘味のある美味しさで知られ、全国でも指折りの出荷量を誇っています。

は、ネギ。この地域で
価を受けているの

野菜類で高い評

した。

栽培されてきま

や果実が盛んに

多様な品種の野菜

から、米や麦などの

穀物はもちろん、

あります。このため古く

い農作物づくりに最適の環境に

に恵まれ、フレッシユで美味し

は、肥沃な土壌と、温暖な気候

九十九里平野に広がる山武市

ナシ

何と言っても甘みと瑞々しさが魅力の梨。8月中旬からは、市内の観光農園でもその味覚を楽しむことができます。



また、水はけの良い土壌により土色がつくこともなく真っ白なまま出荷できるのが特長のエシヤレット。例えば、味噌を添えるだけで美味しいお酒のつまみになるなどの味わい方が楽しめます。

そのほか、ダイコン、トウモロコシ、ニンジン、ニラ、トマト、サトイモ、ハクサイ、ブロッコリー、サツマイモなど、気候と立地をいかして多くの特産品を産出しています。

果実では、抜群の瑞々しさと甘さが特徴のイチゴの産地として知られています。国道126号沿いのストロベリーロードには冬から春にかけて観光イチゴ

ニラ

ニラは、山武市を代表する野菜のひとつです。味と同時に安全性も追求して栽培される元気なニラは、自慢の野菜です。



園が立ち並び、甘い薫りにつままれます。ほかにナシ、ブドウ、メロン、スイカ、カキ、ブルーベリー、クリなど、日の光と大地の養分をたっぷり吸収して育った果実類は、美味しさが際立つと人気を集めています。九十九里浜といえば、イワシをはじめとした魚介料理が有名ですが、山武地域で昔から、冠婚葬祭など人々が集まる時のごちそうとして必ず出されてきた料理が、太巻き寿司。潮の香りが漂う海苔と、九十九里平野の大地に育まれた米や野菜類を利用した伝統的な食文化です。地域で、そして家庭で代々伝えられてきた料理の数々は、山武の新鮮な農作物とともに生まれ、食されてきたものです。

辛みが美味を醸し出すエシャレット。水はけのよい土壌により鮮やかな白色が特長の特産品です。



エシャレット



清浄な空気と水、そして九十九里浜周辺の水はけのよい土壌に恵まれた山武市。新鮮で美味しい大地の恵みを約束してくれる環境と生産者の愛情にあふれています。



イチゴ イチゴのまち、山武市。直売所や観光イチゴ園が立ち並び国道126号沿いは、ストロベリーロード。甘さと風味抜群のイチゴを穫れたてどうぞ。

あじわいのまち 山武



名物の太巻き寿司も、山武産の食材が使われています。

Sammu, a City of Taste

Sammu City, which is blessed with clear skies and water and the fertile soil of the Kujukurihama plain, has an excellent environment for cultivating fresh and delicious vegetables and fruit trees. Fruits include strawberries (Strawberry Road along Highway No. 126 is famous), pears, grapes, watermelons, and melons. Vegetables include Sanbu Welsh onions, which are very popular for their sweetness, shallots, radishes, Chinese chives, and carrots. Local products raised on the nutrition of the land and the affection of producers enjoy great popularity.

山武ネギ

山武市は、県内有数のネギの産地。減農薬栽培に取り組み、品質・安全性ともに最高のネギを生産しています。



現状と課題

少子高齢化の進展により、市民一人ひとりが抱える潜在的な健康や福祉の問題は多く、介護が必要になる前の予防や健康づくり等、高齢者への介護予防支援の取り組みや、少子化による子育て家庭に対する環境づくりが必要です。

また、核家族化や共働き家庭の増加により、日常生活における市民間の交流が停滞し「住民同士のつながり」も希薄化しており、これからの福祉を考えると、「顔の見える関係づくり」「共に生きる社会づくり」を進め、地域の助け合いによる福祉（地域福祉）を推進することが必要です。

健康については、運動不足や食べすぎなどによる高脂血症や糖尿病が増えているため、これらの生活習慣病を抑制することが必要です。

一方、地域医療の面では公立病院の勤務医が不足しているため、夜間救急の受け入れが困難なことなどから市民の持つ地域医療への不安が大きいです。

現状が
あります。
したがっ
て、市民が
安心できる
医療体制を
確立しなけ
ればなりま
せん。



作業療法(松尾IT保健福祉センター)



学童保育



ミニボール教室(蓮沼保健センター)



Enhancement of Health, Welfare, and Medical Services

Amid the advance of aging and the low birthrate and an increase in the number of single and elderly-only households, a major issue is the building of a social environment in which everyone can live without anxiety. In Sammu City, we are making efforts to strengthen coordination among health, welfare, and medical services and to establish a local community in which citizens support one another.

さんぶの森元気館(アクアピクス)

山武市の取り組み

高齢社会において市民だれもが生きがいをもって安心して暮らすことが出来るように、市民の健康づくりの実践支援、疾病予防などを推進するとともに、健康増新体制の充実を図ります。

また、介護保険事業計画を円滑に実施し、高齢者保健福祉計画に基づく元気な高齢者育成に努めます。

人として、誰もが平等に生きる権利を実現するノーマイゼーションの理念のもとに自立支援に向けた障がい福祉を充実し、健全な子どもたちの育成、また近年急速に高まっている子育て支援の需要に対応する体制構築を図ります。

地域医療については、国の医療制度改革に大きく影響するものはありますが、市民と行政が一体となり、最大限の努力をもって、市民のための医療体制の確立に努めます。



福祉作業所



健康まつり

ともに手を携えて
誇りを持てるまちづくり
誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ

【保健・福祉・医療の充実】

だれもが生きがいを持って 安心して暮らせるまちづくり

少子高齢化や単身世帯・夫婦のみ世帯が増加するなか、大きな問題となるのは、だれもが安心して暮らすことができる社会環境づくりです。山武市では、すべての市民が心身ともに健やかに暮らすことができるよう、保健・福祉・医療の連携を強化し、市民が共に支え合う地域社会の確立に努めていきます。





「ここに来ると、私たちの方が元気をいただいて帰るんですよ」と美郷会の皆さん。結成は平成6年。本郷で活動を始めたことにちなんで名付けられました。

子どもからお年寄りまで、生涯のライフステージそれぞれに、いきいきと輝く笑顔があります。お互いに助け合って、ふれあって、いっしょに奏でる暮らしの讃歌。今日も、街は元気です。

山武 讃々

さんさんさんむ



美郷会 B型リハビリ・ボランティアグループ

明るく元気な笑顔が何よりいちばん。“寄り合い”のような手作りの時間です。



B型リハビリとは、介護状態にならない状態を維持するために、指の体操や肩たたき運動のほか、しりとりなどの頭の体操も取り入れています。

仲間づくりの機会として、気軽に参加してみませんか。

毎月3回、山武地区の3か所の会場を順に巡りB型リハビリのお手伝いを行っている美郷会。地域の高齢者の方たちといっしょに、23人の明るいお母さんたちが楽しいひとときを過ごしています。「リハビリといっても、集まっておしゃべりして、楽しんでが目的ですよ」と会長の猪野八千代さん。その言葉のとおり、体操やゲームの間じゅう笑顔と笑い声が絶えません。

てことばの会 手話サークル

一人でも多くの人に、少しずつでも安心して暮らせる世界が広がりますように。



「最近、中学校や高校からも声をかけていただくことも多く、うれしいことです」と、聴覚障がいのある鈴木順子さんから、手話によるメッセージをいただきました。

手話で自己紹介ができるように名前の表し方を練習中。



「誰でも覚えやすいように工夫されているんですよ。いっしょに学びませんか」と、手話サークルでことばの会の小安吉枝さん。「聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法は手話の他に要約筆記などもあります。また「障がいのある人が安心してどこでも行ける時代になるように」と、手話&手話ひまわりの中村朝子さん。ともに手話を学びながら、障がいのある人との交流を深め、誰もが暮らしやすい街にと願う皆さんです。

平成8年から続く小学校での勉強会も、少しでも多くの人に手話に親んでもらうための活動の一環です。特別なことではなく、手話は誰にでも開かれたコミュニケーションのひとつ。まずは、自己紹介から覚えてみませんか。

つくしんぼの会 育児サークル

七夕、芋掘り、クリスマスに節分…
お母さんも子どもも、季節の
楽しさを味わっています。



「わにさんの後ろにいるのはだあれ？」
「ぞうさん！」
元気に答える子どもたち。毎回何冊かを
選び、絵本の読み聞かせも行っています。



服がちょっとくらい汚れても、
気にしない気にしない！
みんなで輪になって手をつなぎ
ながら運動したり、「いっぽん
ばいっぽんばし、お山になっ
ちゃった〜♪」と手遊びも。お
母さんたちも、毎週この時間を
楽しみにしています。



ニンジン、ピーマン、レン
コンにオクラ：いろんな野菜
に絵の具をつけて、真っ白な
紙の上にベタタンベタタン。
顔や手までも染めながら、子
どもたちはみんな夢中です。
「粘土をこねたり水遊び、
泥んこ遊びにスライム作り。
家庭ではできない遊びを親子
で楽しみながら、子育て中のお
母さんたちが息抜きしたた
り、知り合える場にもできたり
らと思ってるんです」と、つく
しんぼの会の根本敏子さ
ん。広報・会計・記録・おや
つ係と役割分担して、参加す
るママ全員で運営している育
児サークルです。親子でいき
いき、素敵な時間ですね！

ふれあいのまち 山武



Sammu, a City of Interchange

From children to the elderly, the city is full of cheerful smiling faces. There is a group that supports the maintenance of health through gymnastics and exercise; a circle that is endeavoring to study and disseminate sign language; a circle that encourages child raising through the cooperation of the community and friends; and so on. We report on people in Sammu who live vigorous lives by pooling their strength and wisdom, helping one another, and engaging in interchange.

手話 & 手話ひまわり

南郷小学校での「手話と点字の勉強会」。毎日使うあいさつを覚えたり、曲に合わせて歌詞を手話で歌ったりと、子どもたちの目も輝きます。



現状と課題

少子化、核家族化の進展に伴い、本来家庭で行うべきしつけなどの規範意識や倫理観を学ぶ場としての家庭の役割が希薄化していることから、「家庭教育力」を見直す必要があります。地域においては、同年齢や異年齢との交流を通じての人間関係を学ぶことや社会性を身に付けることが難しくなり、改めてコミュニティや連帯意識を醸成する必要があります。

さらに、市民の健康づくり等スポーツに対する多様化したニーズにも対応しなければなりません。

一方、町村合併、少子化などによる学校施設をはじめとする教育施設の適正配置及び効率的な経営も図らなければなりません。

山武市の取り組み

学校教育では、「活きた学力」をはじめとする「生きる力」を育む教育の推進を図るとともに、一人ひとりの個性や人権を尊重した学校づくりと地域の人たちの声や想いを反映できる仕組みをつくります。

地域の教育では、学校・家庭・地域との相互理解や信頼関係を築



生涯学習の輪が広がります



文化祭(芸能発表大会)



成東総合運動公園

Promotion of Education and Culture

Education is the important driving force that will open up the future of Sammu. Our aim is to build a learning environment in which every citizen can truly experience the joy of study throughout his or her life. In addition, we will also endeavor to enhance home education and community education. Regarding school and other educational facilities, we will utilize the limited budget in an effective and efficient manner.



市民が一体となる体育祭

くため積極的に情報を発信し、地域で子どもたちを育てていくという視点で「地域教育力」の向上に努めます。

家庭教育では、すべての教育の出発点であるという原点に立ち返り、家庭におけるしつけや基本的な生活習慣など「家庭教育力」の向上を推進します。

生涯学習では、

芸術文化・スポーツなど生涯にわたって自ら学んでいく学習の機会を充実させ、健康で長生きの喜びを実感できるまちをつくりまします。

学校施設をはじめとする教育施設では、合併後大きく変わった環境の中で、適正な配置と安全・安心な施設整備を限りある予算の中で計画的に実施していきます。

また、家庭、学校、地域社会、職場など様々な機会をとらえて、人権教育、人権啓発を推進していきます。

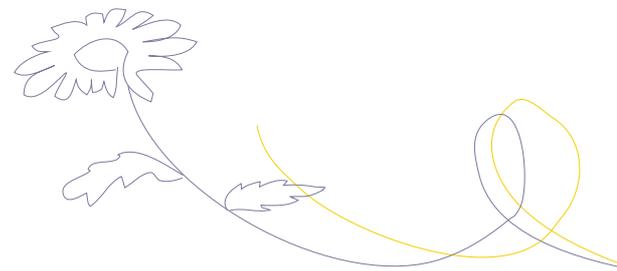


地域の皆さんが先生に(みどりみ子ども教室)



ALTによる中学校の英語授業

**ともに手を携えて
誇りを持てるまちづくり**
誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



【教育・文化の振興】

生涯を通じて人と人とがふれあい 共に学びあえるまちづくり

教育は、山武の未来を切り開く大切な原動力となります。市民の一人ひとりが生涯にわたって学ぶ喜びを実感できるような学習環境の整備を図っていきます。また、「家庭教育力」「地域教育力」の向上にも努めていきます。学校施設をはじめとする教育施設については、限りある予算を有効かつ効率的に配置します。



山参 武々

大富ばやし保存会

自信を胸に、堂々と、
リーダーとなるよう
大きく翔け！



会の発足以来23回目を迎える青松苑での交流会。そのほか、年に10数回の公演を行っています。

楽しいこと、珍しいこと、不思議なこと、
まだまだ知りたいことがいっぱい。
学校で、地域で、毎日の暮らしの中で、
たくさんの人たちが学び、育っています。
いくつになっても、向学心と好奇心は、
むくむくとわいてきます。

「えも早い」。
演技を重ねる
ことで日に日
にたくましく
成長してくれ
る姿を学校や

結成23年目を迎える大富ばやし保存会が、恒例の交流会に青松苑を訪れました。現在は、大富小学校の2、6年生で構成され、演奏曲目も20数曲を数えます。
結成以来指導を続ける会長の都丸幸雄さんは、「演奏する子どもたちのいきいきとした目を見てください。心が躍ること請け合いです」と、文字通りの太鼓判。「今の子どもたちはリズム感がよく、覚えも早い」。

地域の大人たちも優しく見守ってくれています。「ただ、中学生になってクラブや勉強に忙しくなると、お囃子を続けることが難しくなる」と、多くの世代で継承してゆくことが今後の課題とのこと。都丸さんの後を受け継ぐ若き指導者が育ってくることを、市民のみんなが願っています。

「仕事で疲れて帰ってきてても、練習に出れば子どもたちから元気ももらっています」と都丸幸雄さん。



子どもたちとの対話の時間を大切に、一緒になってワクワクする時間をいつまでも。



人形劇すぎのこ

9人のメンバーが仕事や家事などの時間を工夫しながら半年の練習期間と、秋から3月までの公演のサイクルで、にぎやかに活動しています。



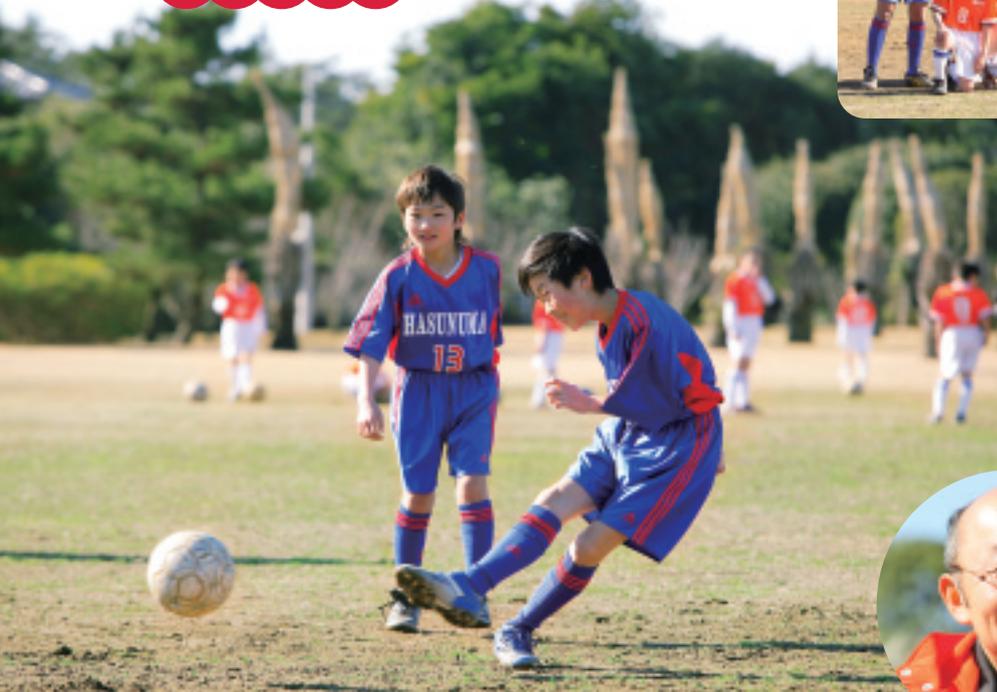
「子どもたちに心を開いてもらって、楽しい場を共有したい、ただその思いだけです」と20年以上続く活動の原動力を語る代表の金子良子さん。人形劇の公演を中心に、大型紙芝居や朗読、読み聞かせなど多彩な活動に加え、保健センターでの親子の絵本あそびなど、子どもがいるところならどこでも、幅広いフィールドで活躍しています。お話を怖がったり、驚いたり、喜んだり、子どもたちの豊かな表情にふれることが何事にもかえがたいと皆さん。「今後は、こうした場をつなげていくために、新しい担い手を育てていかなければなりません」とのこと、ぜひ、すぎのこの輪に加わりませんか。

サッカーを通して伝えたい。
あきらめない強いハートと
人を思いやる優しい心。

FC蓮沼BB 少年サッカークラブチーム



紺色は高学年、オレンジ色は低学年のユニフォーム。山武市になって、蓮沼以外の地区からの入団も期待できます。



「好きなこと、やりたいことに愛情を持って打ち込める人間に育ってほしい」と古作秀彦さん。



FC蓮沼BBは結成7年目、小学校1〜6年生までの25人が毎週土・日曜日の練習に汗を流しています。チームの特徴は「明るくて元気なこと。フレンドリーなことかな」と代表の古作秀彦さん。兄妹が3人以上の子どもたちもいて、下級生への面倒見がよく、学年の垣根があまりないことが、チームのまとまりを強くしているそうです。代表や監督・コーチたちも指導者としてだけでなく、地域の子どもを見守る親の眼差しで選手たちを教えています。

チーム名の「BB」とは、実は「ビーチ・ボーズ（＝坊主）」のこと。元気なチームにぴったりのカッコいい名前ですね。

創造のまち 山武



Sammu, a City of Creativity

At school, in the community, and in their daily life, people study and grow. There is a folk culture society that carries on the tradition of *ohayashi* (musical accompaniment), local people who wish for the healthy growth of children through sports, a circle that goes around various facilities performing puppet theater and storytelling through picture cards, and so on. Regardless of age or occupation, people teach one another and learn from one another and create a new culture of Sammu. Here we report on some of their activities.



人形劇

この日は、蓮沼保育園の親子たちと紙芝居「ぐりとぐら」と人形劇「ヘンゼルとグレーテル」の世界を楽しみました。



現状と課題

本市の財政状況は、合併による優遇措置があるものの非常に厳しい状況にあり、選択と集中による戦略的な経営を推進して健全化を図らなければなりません。自主財源を積極的に確保するとともに、限られた財源を有効かつ効率的に活用しなければならず、市民と行政が情報を共有することにより、市民ニーズや市の現状を的確に把握し、重点的に取り組む分野を選択することや行政が担ってきた分野の見直しなど、効率性を高めなければなりません。

さらに、魅力あるまちにするためには、市民一人ひとりが地域に愛着を感じ、市民と行政がそれぞれの役割分担を明確にし、お互いに信頼のうえ協働によるまちづくりを進めることや異文化を理解し、多様な価値観を認め合うことが必要です。

山武市の取り組み

市民が主人公の誇りあるまちづくりを進めます。

そのために、自治会などの地域での主体的な活動を活性化するとともに、ボランティア・NPOなどの活動支援などを行います。

市民活動施設の整備により、様々な組織やグループの連携を深



青少年海外派遣事業による国際交流の様子



市民ボランティアによる食虫植物子ども教室

Promoting Community Development and Administrative and Financial Efficiency

We will promote city building with citizens as the main actors. Citizens and the administration will clarify their role sharing and promote joint city building based on mutual trust. In addition, we will actively carry out a revision of policies and projects and strive to realize planned and efficient administrative and financial management. Furthermore, we will make efforts to train staff and build an organization that can respond to the changing times.



め、多くの市民が自主的に活動を展開し、参加できる環境を整えます。

また、自立を目指すカギは健全財政の堅持であることから、町村合併に伴う財政優遇措置の終了を見据え、健全な財政運営を推進します。

行政評価の考え方により、積極的に施策・事業の見直しを行い、市民の理解を得て計画的・効率的な行財政運営を推進するとともに、時代の変化に対応できる職員の育成と組織づくりに努めます。

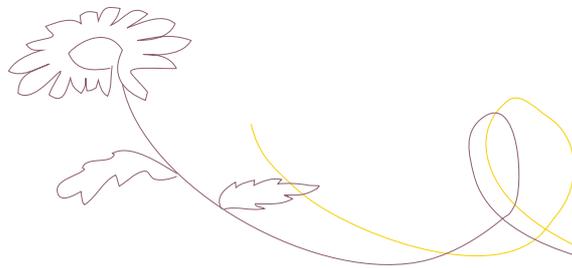
さらに、高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、市民の意向を的確に把握するとともに、個人情報保護など情報管理を徹底したうえで行政の持つ情報の積極的な提供と説明責任により、市民と行政がそれぞれの役割を理解し、良好な信頼関係のもと協働によるまちづくりを推進します。



NPOによるパソコン教室

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



【コミュニティ推進と行財政の効率化】

市民と行政が協働してつくるまちづくり

市民一人ひとりが主役のまちづくりを進めていきます。
市民と行政がそれぞれの役割分担を明確にし、
お互いの信頼による協働のまちづくりを推進していきます。
また、積極的に施策・事業の見直しを行い、
計画的で効率的な行財政運営を図っていきます。
さらに、時代の変化に対応できる職員の育成と
組織づくりにも努めます。





椎名千収市長(左)、金田重興教育長(右)

山武市は、多様化・高度化を続ける住民ニーズに対応して、充実した行政サービスを提供できる体制づくりを進めます。そのため、組織機構の見直し、行政評価、行政管理システムの適切な運営、民間の資金や経営能力、技術力を活用したPFI手法などの導入も検討しつつ、行財政運営の効率化、健全化をいっそう推進していきます。

また、行政サービスの地域間格差が生じないように、各地域にある既存施設の有効活用や整備充実に努めていきます。

さらに、広報紙、ホームページをはじめ多様な媒体で、身近な問題から市政運営まで広く情報公開を進めることで、開かれた行政の推進と積極的な住民参加を促していきます。

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



山武市役所

行財政

健全な行財政のまちづくり

Administrative and Financial Administration

Following the merger, the city of Sammu is building a setup that can respond to the diversifying needs of residents and provide thorough administrative services. For that purpose, the city is aiming to improve the efficiency of administrative and financial management through, among other things, the revision of organizational structures, administrative evaluation, appropriate operation of the administrative management system, and the utilization of private-sector vitality. Also, through the broad disclosure of information, the city will encourage an open administration and actively promote citizen participation.





遠藤正之議長(左)、加藤忠勝副議長(右)

議員は各々、総務・文教厚生・都市建設・経済環境の4つの常任委員会に所属しており、専門的な立場からの調査研究や審議を行うほか、請願や陳情の審査を行っています。

市議会は、選挙によって選ばれた24名の議員により構成され、年4回の定例会や必要に応じて招集される臨時会において、予算案の議決や決算の承認、条例・規則の制定と改正など、まちづくりの方針を定める様々な課題や議案が討議されます。

市議会

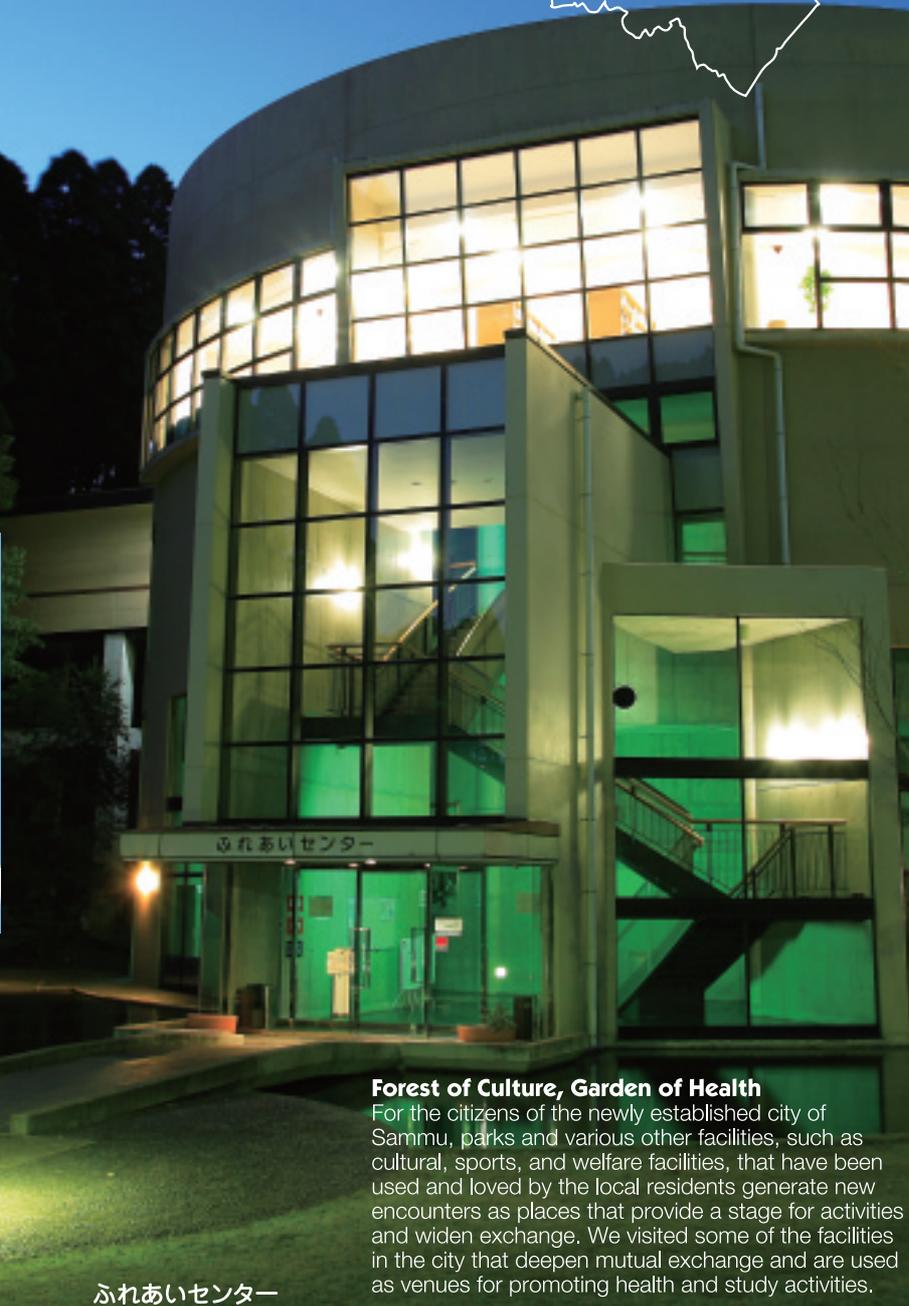
みなさんの声と想いを市政に

City Assembly

The city assembly is the most important body for reflecting the voices of citizens in city administration and for improving the lives of citizens and facilitating the affluent development of the region. The assembly consists of 24 members elected as representatives of the citizens. In four regular sessions and extraordinary sessions, it votes on and approves the budget and settlement of accounts and discusses and votes on important issues of city administration, such as the enactment or revision of ordinances and regulations.



健康の園 文化の杜



Forest of Culture, Garden of Health

For the citizens of the newly established city of Sammu, parks and various other facilities, such as cultural, sports, and welfare facilities, that have been used and loved by the local residents generate new encounters as places that provide a stage for activities and widen exchange. We visited some of the facilities in the city that deepen mutual exchange and are used as venues for promoting health and study activities.



さんぶの森文化ホール



各地域の住民に利用され親しまれてきた公園や文化・スポーツ、福祉などの各種施設は、新たに誕生した山武市民にとっても、活動の舞台、交流を広げる場として、新たな出会いを生んでいます。

自然とのふれあいの中で仲間と集い憩える公園や広場、各種のスポーツ施設など。健康や体力づくりに役立てられている福祉・保健施設、芸術文化の観賞や学習の成果を発表する場として利用されている文化施設、図書館など。ますます広がった活動の場で、新たな交流を楽しみ深めるシーンを訪ねてみました。

花の谷





ふれあい広場



グリーンタワー



さんぶの森公園
 テーマは、自然とのふれあい。12haの広大な敷地にグリーンタワーやふれあい広場、キャンプ場、バーベキュー広場、花の谷、親水広場などのエリアが広がり、ふれあいセンターには図書館や文化ホールの設備があります。



松尾図書館
 松尾IT保健福祉センター2階に平成16年にオープンした図書館です。21台のパソコンが設置されたコーナーや2万冊の図書を収容できる子ども図書コーナーなどが特色で、IT講習会やおはなし会などを開催しています。

おはなし会



松尾図書館
 (松尾IT保健福祉センター)



Sanbu no Mori Park, Matsuo Library

Sanbu no Mori Park is based on the theme of coming into contact with nature. Its highlights include the Green Tower, the Fureai Center, a campsite, and the Valley of Flowers. Matsuo Library, which is situated inside the Matsuo IT Health and Welfare Center, is a distinctive library with, among other things, an IT Corner and a Children's Reading Corner that can stock 20,000 books.



**Hasunuma Seaside Park,
Naruto Bunka Kaikan Nogiku Plaza**

Hasunuma Seaside Park is a large park extending 4 km from north to south. Centered on its symbolic observation tower, there are various sports and leisure facilities here for the enjoyment of visitors, including a Water Garden, amusement park, tennis courts, and a baseball ground. Nogiku Plaza has a hall, library, audiovisual facilities, and so on and is used for various events, including music, theater, and dance. It is a central facility for the transmission of information and exchange.

展望塔



野球場



蓮沼海浜公園
 九十九里浜に沿って広がる南北4 kmの広大な公園です。シンボルとなる展望塔を中心に、ウォータージェット（プール）、こどもの広場（遊園地）、いこいの広場、テニスコートや野球場など、スポーツやレジャーを満喫できるエリアが人気です。

ミニトレン





展望塔からの眺望

ウォーターガーデン



成東文化会館ホール



成東文化会館のぎくプラザ



成東文化会館のぎくプラザ
コンサートや演劇、舞踏など多彩なイベントが催されるホールをはじめ、約9万冊の蔵書を備えた図書館、視聴覚施設等が併設された情報発信の拠点施設です。平成8年のオープン以来、地域の文化活動や交流の場として利用されています。

文化の杜 健康の園



●喜月翁句碑

よろこびし月は山端にはかなくも。1700年代後半に活躍した郷土出身の俳人・喜月翁の句碑が蓮光寺境内に残っています。(蓮沼二)

●蕪木5号墳出土品

(国立歴史民俗博物館所蔵) 須恵器3点、銅製馬具、鉄製直刀、金銅製巾着型容器(写真)、金銅製刀子をはじめ古代史的に貴重な多数の副葬品が出土しています。(松尾町蕪木)



●島戸境1号墳

耕作中に鏡が出土したことから発掘調査が行われ、麻生新田の畑の中から、鏡4点、首飾りに使われた玉類252点、刀子(小刀のようなもの)1点が出土しました。いずれも死者に供える副葬品です。(麻生新田)



大地の記憶

この地に最初の人類の足跡が記されたのは、旧石器時代に遡ります。太古の海岸線は現在よりもかなり内陸部にあったと考えられ、浪切不動院のある石塚山には波に削られた痕跡が残されています。その後、気温が下がり九十九里平野ができること、縄文時代の早期〜後期、弥生時代にかけての遺跡も発見されています。太平洋の豊かな恩恵を受け、自然とともに暮らす様子が貝塚などからうかがわれます。

古墳時代になると地域に勢力を伸ばす豪族により古墳が数多く築かれ、島戸境1号墳や蕪木5号墳などからは貴重な副葬品も多く出土しました。律令国家が成立すると、当地は山辺郡や武射郡に組み込まれていきます。この時代、九州沿岸の守備に派遣された防人の半数は房総出身者と言われ、万葉集には山辺郡出身の防人の歌も収められています。

●木造四天王立像(勝覚寺)

持国天、増長天、広目天、多聞天ともに2mを超える巨像で、1327年頃の製作と推定されています。(松ヶ谷)



●浪切不動院

石塚の森の中腹にある岩石上に建てられた朱塗りの不動堂。現在の本堂の建立は、江戸初期まで遡ると考えられています。(成東)

- 旧石器時代
紀元前18000ころ
◎上人塚遺跡・四ツ塚遺跡
- 縄文時代前期
紀元前40000〜30000ms
◎尖頭器が山室から出土する
- 古墳時代
◎和邇臣祖彦意邪都命の孫彦忍人命が武社(武射)国造となる
- ◎島戸境1号墳、北野5号墳、大堤権現塚古墳、山室姫塚古墳、朝日ノ岡古墳、蕪木5号墳などが築造される
- 729〜748(天平年間)
◎僧行基が浪切不動院に本尊を安置したと伝える
- 935(承平5)
◎上総国に市原・海上・畔蒜・望陀・周准・埴生・長柄・山辺・武射・天羽・夷隅の11郡が置かれる
- 1196(建久7)
◎お龍頭の舞が始まる
- 1228(安貞2)
◎印東四郎成東城主となる
- 1287(弘安10)
◎鍋木胤泰(孫八郎)、嫡子家胤に鍋木城を譲り、次子常泰とともに上総国無木郷に移り、常泰を無木郷の領主とする
- 1314(正和4)
◎上大蔵板碑建立
- 1346(貞和2)
◎妙見社板碑建立
- 1352(正平7)
◎定利尊氏、小松村を鎌倉円頓宝戒寺に寄進
- 1373(応安6)
◎虚空蔵山板碑建立



●五所神社本殿

五所神社の本殿は、桃山時代の遺構を残す江戸時代の神社建造物で、唐破風・千鳥破風、入母屋造、屋根は栩葺きとなっており、中心となる身舎は数多くの彫り物で装飾され、色彩が施されています。(連沼イ)

Memories of the Land: The History of Sammu

Traces of human beings in the Sammu district date back to the late Old Stone Age. From the Kofun period (ca 300-710), there are many burial mounds belonging to powerful families that extended their influence over the region at that time. In the middle ages, the area came under the control of various powerful samurai, such as the Chiba family. And in the Edo period (1603-1868), much of the land was either under the direct control of the shogunate or under the control of retainers of the shogun. The district was an agricultural belt, but in the second half of the seventeenth century seine nets became widespread, and sardine fishing flourished. During and after the Meiji period (1868-1912) the villages moved forward on the path of modernization, and around 1955, following World War II, they merged to form Naruto-machi, Matsuo-machi, Sanbu-machi, and Hasunuma-mura. Sammu City was formed through a merger of these municipalities in March 2006.

●百人塚(本須賀) 千人塚(松ヶ谷)

1703年11月22日に起きた地震による津波の犠牲者を葬った墓。死者は何千人とも言われ、津波の難なきよう祈って建立されました。



千人塚



百人塚



●木造釈迦如来座像(宝聚寺)

像高57cm、檜材の寄木造。おだやかで親しみのある面貌とふくらみのある肉身表現が特色。鎌倉末期から室町前期の作と推定されています。(川崎)

神々の里

は、群雄割拠して相争った戦の時代が偲ばれます。その後、1600年の関ヶ原の戦いで徳川方として戦った成東城主の石川康道が、3万石を増され美濃大垣藩へ転封されたために鳴瀧藩は廃藩。その後、江戸時代を通じて山武地域の多くは幕府の直轄領や旗本領となりました。この時代、村人たちの多くは農業生産に従事していました。17世紀後半には九十九里浜で地引網が普及しました。また、山武の代名詞でもある山武杉は、この時代に盛況を極めた九十九里イワシ漁の用材として植林されたのが始まりとされています。

また、農民の間に朱子学の系譜をひく上総道学といわれる学問が普及しました。全国でも希有な事例といわれています。

江戸時代半ばの1703(元禄16)年に発生した房総沖を震源地とする地震は、マグニチュード8.2という巨大なものでした。地震による大津波が九十九里浜一帯を襲い、死者は2400人を数えたと考えられています。近代に至るまで、人々は、こうした自然災害や度重なる飢饉と戦っていました。

1590 (天正18) 成東兵庫介将胤、小田原で戦死。石川康通、成東城主となる

1591 (天正19) 嶋戸村、水深村で検地が実施される

1600 (慶長5) 石川康通、関ヶ原に参戦

1601 (慶長6) 石川康通、美濃大垣に移封

1604 (慶長9) 八田村で検地が実施される

1618 (元和4) 浪切不動院中興開基

1661 (寛文1) このころ九十九里浜に地引き網が普及

1679 (延宝7) 狹生徂徠が父・方庵とともに本納村に移住

1680 (延宝8) この頃、多くの庚申塔が建てられた

1700 (元禄13) 成東の大部分が結城水野藩の上総分領となる

1703 (元禄16) 関東諸国大地震、房総沖に大津波襲来

1727 (享保12) 酒井脩敬、成東津辺境橋掛之工事に来る

1750 (寛延3) 板川新田・中津田新田できる

1760 (宝暦10) 麻生新田できる。この頃より、原野に植林するものが増える

1799 (寛政11) 稲葉黙斎が没す、元倡寺に葬る

1830 (天保1) 木材使用が多くなり、上総建具の生産が盛んになる

1840 (天保11) 勝覚寺に芭蕉句碑建立

1846 (弘化3) 堀田正睦、九十九里浜を巡視する

1863 (文久3) 真忠組事件おこる

1867 (慶応4) 柴山文平、安房上総知県事となり、成東町の大部分がその支配下となる

●成東城跡公園

室町時代に築城された成東城のうち、外の空堀と思われる凹地が残されています。緑豊かな木々に見守られた公園となっています。(成東)



●礎の碑

1945年8月13日、成東駅に停車中の火薬を積載した貨車がグラマン機の攻撃を受け爆発、殉職した作業中の将兵27人、駅職員15人を悼む碑です。(津辺)



●魁の碑

両総の地に鉄道を敷設しようと尽力し、郷土の発展に多大な貢献をした安井理民の偉業を称え、1971年2月に成東駅前に建立されました。(津辺)

大地の記憶

明治維新によって近代化の時代を迎えます。山武一帯の多くは、掛川から転封された太田資美(松尾藩)支配の後に、木更津県や印旛県に、さらに1873年には千葉県のもとに組み入れられることとなりました。分散していた村々も、町村制の施行により1889年に成東町、大富村、南郷村、緑海村、鳴浜村、源村、日向村、睦岡村、蓮沼村、松尾村、大平村、豊岡村に再編成されました。

明治期には、成東町出身の安井理民らの尽力により総武鉄道が敷設され、地域の発展に大きく寄与することとなりました。

大正デモクラシーから第二次世界大戦、そして戦後の混乱期と日本全体が揺れる中、新たな出発となったのが、昭和30年前後に行われた町村合併です。この地域は成東町、松尾町、山武町、蓮沼村の3町1村として歩み始めます。

それぞれの町村は、昭和の高度経済成長から平成時代へと続く半世紀を、地域の発展と住民生活と福祉の充実とに努め、2006年3月に、山武市として合併し、新たなスタートを刻みました。

●九十九里教会

1882年に創立、87年に現在地に教会堂が落成しました。米国人宣教師ヘボンが建築費用として多額の寄付を行いました。(松尾町松尾)



●歴史民俗資料館

考古学、民俗資料に加え、『野菊の墓』や直筆原稿など、成東に生まれ育った伊藤左千夫に関する資料を多数展示しています。(殿台)



- 1873 (明治6) ◎木更津県・印旛県を廃止、千葉県となる
- 1876 (明治9) ◎牧野萬右衛門、草深で落花生の栽培を始める
- 1882 (明治15) ◎九十九里教会創立
- 1889 (明治22) ◎成東町、大富村、南郷村、緑海村、鳴浜村が誕生。源村、日向村、睦岡村誕生。新蓮沼村が誕生。松尾村、大平村、豊岡村誕生。各村では養蚕業が盛んに
- 1897 (明治30) ◎郡制改革により山辺郡、武射郡を廃し山武郡を設置。総武鉄道佐倉・銚子間開通。成東駅開業
- 1898 (明治31) ◎松尾駅開業。松尾村が松尾町となる
- 1903 (明治36) ◎「馬酔木」創刊
- 1908 (明治41) ◎塙谷の藤真一邸宅にて『阿羅々木』創刊
- 1920 (大正9) ◎「食虫植物群生地」国指定天然記念物となる
- 1924 (大正13) ◎成東繭市場開設
- 1934 (昭和9) ◎各町村に青年学校が設置される
- 1945 (昭和20) ◎蓮沼村の上空に襲来した米軍艦載機が栗山飛行場を爆撃。鳴浜国民学校、成東駅など被災
- 1955 (昭和30) ◎鳴浜村の白幡、本須賀区域が成東町に編入。緑海村が成東町に編入。睦岡村と日向村が合併し山武町が誕生。松尾町、大平村、豊岡村が合併し新松尾町誕生
- 1968 (昭和43) ◎松尾工業団地完工
- 1972 (昭和47) ◎成東町歴史民俗資料館開館
- 1973 (昭和48) ◎国鉄総武本線が電化される
- 1975 (昭和50) ◎蓮沼海浜公園ウォーターガーデン、開園
- 1978 (昭和53) ◎新東京国際空港が開港
- 1982 (昭和57) ◎成東城跡公園全面オープン
- 1985 (昭和60) ◎成東町新庁舎落成
- 1996 (平成8) ◎文化会館のぎくプラザ完成
- 1998 (平成10) ◎さんぶの森公園オープン
- 2005 (平成17) ◎道の駅オライはすめまオープン
- 2006 (平成18) ◎3町1村の合併により山武市誕生

神々の里

祈りと感謝の

祝祭

長い時をこえて伝えられてきた祭りや神事、芸能には
この地に暮らしてきた先人たちの信仰や素朴な祈り
そして、尊い知恵と精神がこめられている。



●根蔵・八幡神社の秋祭り
(10月中旬)

●蓮沼・五所神社
十二面神楽 (2月第3日曜日)



◎稲荷神社 (3月第2土曜日)

●松尾の里神楽



◎大宮神社 (4月第1日曜日)



◎末廣神社 (7月25・26日)

神々の里

神楽と舞の里をめぐる

五穀豊穡や天下泰平を願って奉納される舞、神楽。市内の金刀比羅神社、末廣神社、大宮神社、稲荷神社、五所神社、白幡八幡神社などで奉納される神楽は、江戸神楽の影響を受けた里神楽で、長い歴史を乗り越えて今に受け継がれています。

市内各地の神社では、春や秋の例祭に、伝統の神楽や獅子舞が奉納され、近郊から多くの参詣者を集めています。

源頼朝の源氏再興祈願のお礼参りに端を発したと伝わる白幡八幡神社の「お龍頭の舞」や練り行列、獅子舞が地区の家々を回り悪病・悪魔を追い払う「椎崎三匹獅子舞」など、各地に伝統の祭事が脈々と受け継がれています。



◎金刀比羅神社 (8月第1日曜日)



祈りと感謝の
祝祭

**寿老人
光明寺**

◎健康と長寿の神様
富田1715



**大黒天
月蔵寺**

◎商売繁盛と福寿開
運の神様
早船1417



**福祿寿
宝積寺**

◎幸福と長寿の神様
松尾町大堤449



**布袋尊
真光寺**

◎知恵と福德円満の神様
松尾町借毛本郷1238-1



**毘沙門天
観音堂**

◎病魔退散と財宝の神様
新泉（富田光明寺別当）

**恵比寿
慈広寺**

◎漁業・海上交通と商売の神様
小松726



**弁財天
海巖寺**

◎五穀豊穡と音楽の神様
本戸432



九十九里
七福神めぐり

七福神とは、毘沙門天、大黒天、弁財天、福祿寿、寿老人、布袋尊、恵比寿の七神の総称。元旦から7日までに七福神が祀られている神社やお寺を巡り、一年の福を授かるうと広まった民間信仰です。九十九里七福神めぐりの所要時間は徒歩約6時間、車で約2時間が目安です。

◎白幡八幡神社お龍頭の舞（11月上旬）



City of Kagura Music and Dance: Festivals and Traditional Performing Arts in Sammu

Kagura music and dance, which is dedicated to wishes for a bountiful harvest and universal peace, is carried on at such places as Kotohira Shrine and Suehiro Shrine. Other traditional festivals and performing arts that live on include the Oryuzunomai dance and the Shizaki Sanbiki Shishimai dance at Shirahata Hachiman Shrine. Also popular is the Kujukurihama Shichifukujin tour, a pilgrimage around seven deities of good fortune in the city.



◎椎崎三匹獅子舞（10月中旬）

ふるさとの四季

4月9日

日向健康マラソン

うららかな春の一日、966人のランナーが2〜15kmの各コースに参加しました。体力と目標に合わせて思い思いに走りを楽しむ健康的な姿が見られました。

6万人が見た、感じた。

山武市の365日

6月4日

オライはすぬま 30万人突破

平成17年3月のオープンから一年あまりで、早くも30万人を突破しました。30万人目の記念品を手にしたのは、蓮沼地区の大西さんのご家族です。



3月27日

開市式

好天に恵まれた午前8時、関係者によるテープカットで山武市の新たな歴史がスタートした瞬間です。

平成18年3月27日の山武市誕生からの一年間、毎年恒例のイベントも、新しく生まれた催しも、どこかフレッシュで、心持ち誇らしげに感じました。これからは「山武市」の歳時記として伝えていきたい…新たな出会いと発見がいつぱいの記念のアルバムです。



5月22日

第二回グランドゴルフ大会

推定平均年齢は60歳代後半？ 250人をこえるプレーヤーが、成東総合運動公園で熱戦を繰り広げました。





7月1日
すいか祭り
 松尾朝市組合主催の恒例すいか祭り。すいかの食べ放題、すいか割り、お買物抽選会など、夏の幕開けを、大勢の人が味わいました。



7月29日
**サマーカーニバル
 in 蓮沼**

蓮沼海浜公園展望塔前広場を会場に、各地区のグループが踊りやお囃子を熱演。葛城ユキさんのライブや花火大会が、真夏の夜を盛り上げました。



7月15日
海開き
 待ちに待った海開き。九十九里浜が、一番熱くなる。シーズンの到来です。友だちや家族連れなど、今年も多くの人で賑わいました。



10月1日
合併記念式典
 式典には、千葉県知事をはじめ、市内外から約540人の来賓をお迎えしました。あわせて、市章と市の木・花・鳥の発表もとり行われました。

9月24日・10月8日
市民体育祭

市内8か所の会場で支部ごとに開催されました。総勢7500人の皆さんが、好天の秋の一日に、気持ちのいい汗を流しました。



**365 Days Since the Birth of Sammu City,
 as Seen and Felt by 60,000 People**

In the first year since the start of Sammu City on March 27, 2006, there were many events celebrating the birth of the new city, such as the Hyuga Health Marathon and the Grand Golf Tournament, in which participants fully displayed the results of their daily training; the Watermelon Festival, which is a summer highlight, and the official opening of beaches for swimming, which everyone eagerly awaited; and the Summer Carnival in Hasunuma, which was so exciting everyone just forgot about the passage of time.

2006.3.27
 Anniversary Album
 —2007.3.27

6万人が見た、感じた。

山武市の365日



11月5日
第二回福祉まつり
「はばたけ未来へ福祉のまちへ」をキャッチフレーズに、蓮沼海浜公園展望台広場で開催されました。ライブパフォーマーや野外ステージ、福祉バザーなど、5千人を超える人たちが賑わいました。

11月12日～13日
第二回市民号

山武市誕生を記念したお座敷列車ツアー。日本三景の一つ宮城県の松島と秋保温泉を訪れ、秋の行楽を楽しみました。



11月3日
産業まつり

松尾支所前を会場に、野菜の直売、つきたてのお餅や焼肉の無料配布などの各種のイベントで、大盛況の一日となりました。



11月25日
第二回郷土芸能振興大会

成東文化会館のぎくプラザで開催された大会には、市内各地区に伝わる獅子舞やお囃子、太鼓など、14団体が出演しました。熱の入った演技や演奏に、会場から大きな拍手が送られました。

12月23日

第二回 ロードレース大会

小出義雄監督と、アトランタ五輪や世界陸上で活躍した千葉真子さんをゲストランナーに迎えて、蓮沼スポーツプラザ周辺で開催しました。



12月9〜25日

ライトフェスタ in さんぶの森

テーマは「ひとつ♡ひとつ」
点灯式の9日には、花火も上がり、年の瀬の夜をロマンチックに演出しました。



1月7日

成人式

記念すべき第一回成人式をお祝いしたのは総勢703人。新たな旅立ちの決意と夢を、誓い合いました。



3月10日

なのはなまつり

山武市誕生1周年を祝うかのように咲き誇る菜の花。市役所前の会場には、特産物の販売などに多くの人が訪れ、ひと足早い春の一日を楽しみました。



In the fall, a season of art and culture, there was the Local Performing Arts Promotion Meeting, the Industrial Festival in which people enjoyed the products of the season, and the Sammu City Citizens' Train, a dinner train in a tatami-room décor. In the winter there was the romantic Light Festa, the Joint Commemorative Road Race, and Sammu City's first ever coming-of-age ceremony, a truly memorable occasion. It was a year of many precious encounters realized through these various events.

2006.3.27

Anniversary Album

—2007.3.27



市の花◎野菊

City flower
Aster
(wild chrysanthemum)



市の木◎杉

City tree
Japanese cedar



市の鳥◎うぐいす

City bird
Bush warbler



市章 City emblem

太陽に映える恵みの大地と太平洋をイメージしました。山武市の頭文字「山」をモチーフに、未来を拓く新しい風を感じる躍動感に満ちた山武市の姿を表しています。平成18年10月1日制定

Enacted on October 1, 2006, the emblem is an image of the blessings of the land and the Pacific Ocean reflected in the sunshine. Based on the motif of *yama* (also read as *san*), the first kanji in Sammu, it suggests a city full of vigor and a fresh breeze opening up the future.



山武燦々

太陽の光のように太平洋のきらめきのように、
人も街もきらきらと輝いている。
時とともにその輝きをまして、いつまでも
光のあふれる故郷でありますように。
優しさあふれる故郷でありますように。





山武燦々

山武市勢要覧2008

発行日〇平成20年3月 発行〇千葉県山武市 〒289-1392 千葉県山武市船台296

電話 0475-80-1292 URL <http://www.city.sammu.lg.jp/> メールアドレス hishokoho@city.sammu.lg.jp

編集〇山武市総務部秘書広報課 制作〇美ぎょうせい